

愛に生き

真に生き

美に生きる

深川市立一已中学校 学校だより 3/13

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341 FAX：0164-22-3653

<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichiyan-jh/index.html>

卒業していく皆さんへ

校長 坂本 征人

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。3年間を過ごし、多くのことを学んできた一已中の校舎や教室、グラウンド、ともに学び支え合った友達、たくさんのことを教え、導き、育ててくれた先生方と、いよいよお別れの日です。そして、それぞれの新しい場所への旅立ちの時です。

「鳥が選んだ枝、枝が待っていた鳥」という言葉をどこかで見かけました。（すっかり、いつ、どこで見たのか覚えていないのですが…）一本の木の枝に鳥がとまっています。ただ、それだけの風景ですが、その風景を見た方は何か特別なものを感じられたのだと思います。鳥が選んでとまった枝は、鳥がたまたまその枝を選んだのではなく、枝もその鳥がとまりに来るのを待っていたのだ、という出会いの不思議さです。

人と人の出会い、人と学校の出会い…それは偶然でありながら、起こるべくして起こった巡り合わせなのだという事なのかもしれません。一已中での皆さんと友達や先生達との出会いも、皆さんが選んでそして多くの方が皆さんを待っていた出会いだったと言えるでしょう。一已中を旅立つ75名の皆さん。3年間よくがんばりました。この学び舎でのたくさんの出会いを通して、皆さんは大きく成長することができました。卒業は新たなスタートです。これから皆さんが自分で選んで進んでいく新しい場所には、皆さんとの出逢いを楽しみに待っている人たちがいて、皆さんを待っている環境があります。次の場所での出逢いも大切にしてください。そして一已中での3年間のように、これからもがんばり続ける人でいてください。

人は出逢いによって育てられ

人生は別れによって深められる

コロナ禍のため、卒業生は行動の全てに制限がかかる中学校校生活を送ってきました。その中でも、様々な場面で多くの方のご支援をいただき、3月13日卒業生75名は学び舎を巣立っていきました。これまでの皆さまのご支援に感謝申し上げます。

一已中学校 TOPICS

地域とともにある学校を目指して

一已中学校コミュニティスクールは「いい学校」は「いい地域」によって作られ、また、「いい学校」を作ろうと学校・家庭・地域が協働することで「いい地域」も生まれるという基本理念で進めています。今年度3回目の会議が行われました。



新入会員を心から歓迎！

3年ぶりに同窓会入会式を実施しました。五十嵐幸男同窓会会長より、卒業のお祝いと同窓会入会のお礼の挨拶がありました。卒業生を代表して河村瑞貴さんより同窓会入会の言葉がありました。同窓の皆さま、母校発展のために卒業後もお力添えをお願いします。



来校お待ちいたしております

今年度最後の参観日が16日に行われます。保護者の方に参観してもらうことは生徒にとって大きな励みとなります。ぜひ、お子さまの成長した姿をご覧ください。あわせて懇談会も予定されておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



まごころいっぱい

9日、3年生を送る会が行われました。また卒業式を前に、在校生ひとりひとりが75名の卒業生のために、式場準備や装飾などをしました。部活動の見送りも行われ、とても心温まる光景が見られました。



毎年この時期になると、2011年3月11日に起きた東日本大震災を思い出すにはいられません。東北地方を中心に起きた大災害に日本中が呆然と立ちすくんだことを今でも鮮明に覚えています。あれから12年の年月が過ぎました。月日の経つ早さを感じるとともに、日本人の決して諦めない心やたくましさを誇りに思います。大震災から「我々は備え以上のことはできない」ということを学びました。危機管理と対応計画は考えられる最悪のシナリオに基づいて実施しないとうまくいきません。「3.11」は今、追悼と鎮魂の日になっていますが、加えて学校・家庭ともに防災教育の日にしてほしいと思います。